

この取扱説明書はパッケージのデータを再編したものです。

[取扱説明書] この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

⚠ 安全上のご注意

けがをする原因となります。

●くず箱および回転軸部を外してカッターに手を触れないでください。●鉛筆の挿入穴に指を入れないでください。●改造・分解・修理はしないでください。●芯詰まり、メンテナンスの際は直接カッターに触れないでください。

カッターの破損や故障、本体の故障の原因となります。

●木質鉛筆以外のものは削らないでください。●改造・分解・修理はしないでください。●長時間直射日光のあたる場所や高温になる場所に保管しないでください。チャックの劣化、変形する恐れがあります。●湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。カッターが錆びる恐れがあります。

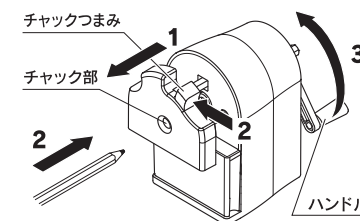
⚠ 使用上のご注意

商品を正しくご使用していただく為、お子様には特に[安全上のご注意][使用上のご注意]の内容をご指導いただきますようお願いいたします。

●4歳未満のお子様には使用させないでください。お子様の手の届かない場所に保管してください。お子様が使用の際は保護者のもとでお使いください。●木質鉛筆以外のものは削らないでください。●色鉛筆や芯のやわらかい鉛筆は削り終わってもハンドルが軽くなり、削れ続けることがあります。また、芯が折れて詰まりやすいのでご注意ください。●くず箱に削りくずがたまりすぎると、削りにくくなり黒鉛がこぼれやすくなりますので、削りくずはいっぱいにならないうちに捨ててください。●鉛筆の種類(形状・太さ)によっては削り具合が異なったり、削りにくい場合があります。●鉛筆の表面に汚れや油分が付着していると削りにくい場合があります。

[ご使用方法]

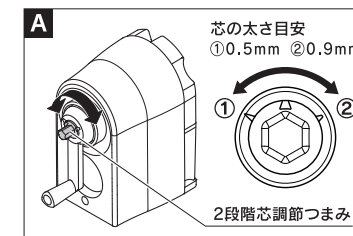
- 1.チャック部を引き出してください。
- 2.チャックつまみを押して、鉛筆を差し込んでください。
- 3.ハンドルを矢印の方向に回して鉛筆を削ってください。削り終わるとハンドルが軽くなります。
- 4.チャックつまみを押して鉛筆を抜いてください。



[2段階芯調節機能のセット方法] 図A

2段階芯調節つまみにて鉛筆の芯の太さを調節することができます。

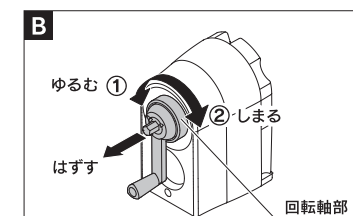
- 細く削る場合(約0.5mm):①の方向につまみを回す
- 太く削る場合(約0.9mm):②の方向につまみを回す



[芯詰まり] 図B

鉛筆が削れなくなったり、カッターに芯が詰まっている場合があります。

- 1.回転軸部を①の方向にまわして取りはずしてください。
- 2.芯詰まりはカッターの図Cの部分でおこります。鉛筆の先端などで折れた芯を取り除いてください。
- 3.回転軸部を本体の穴に差し込み②の方向にしっかりと回してセットしてください。



[メンテナンス方法]

カッターに削りくずや芯粉、折れた芯などが詰まると鉛筆が削れにくくなります。定期的に鉛筆の先端などで削りくずや芯粉、折れた芯などを取り除いてください。※カッターの破損の原因となりますので金属などは使用しないでください。

